

## デフリンピックの東京招致を求める意見書

2025年は、1924年にパリで第1回デフリンピックが開催されてからちょうど100年目にあたり、その記念すべき年に東京でデフリンピックを開催することは、国内外に成熟した開催都市をアピールする、またとない機会となります。東京2020大会のレガシーの活用により、情報アクセシビリティの整備やダイバーシティの観点から東京の共生社会構築が進むことが期待でき、当地域の聴覚障害者の社会参加や障害者福祉の向上にも結びつきます。

デフリンピックを東京で開催することにより、ろう者がろう者としての自覚と誇りを持ち、障害のある人もない人も、多種多様な人々と自由にコミュニケーションがとれるように「心のバリアフリー浸透」と「全ての人に開かれた言語・コミュニケーション環境づくり」を確実なものにしていくべきです。

よって、本区議会は東京都に対し、デフリンピックの日本招致にあたり、東京都が開催地として承認されるよう、積極的な行動を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年12月 9日

新宿区議会議長名

東京都知事 宛て